

し、レーダーエコーでも環状エコーが観測されるなどの観測事実とも、かなりよく合致する。これらの状況は第5図から推測できる。

なお、指数分布式を用いた際は、傾度風速や相対うず度とも、その最大値が、やや大きく表示された。

謝 辞

この研究実施に当たっては、航空大学校当局には、多くの面で御便宜をはかっていただいた。また気象学会編集委員およびレフリーの方には、多くの貴重な御意見をいただきましたことに感謝致します。また宮崎地方気象台の皆さんには第2室戸台風関係の資料をいただき感謝致します。

文 献

Fujita, T., 1952: Pressure distribution within Typhoon, Geophys., Mag., 23, 437-451.
 北 勲, 1967: 大阪湾高潮の数値計算と実測の比

較, 第2室戸台風調査報告, 気象庁技術報告, 54, 174-181.
 増田善信, 笠原 彰, 1956: 気象学講座, 台風論, 33-42.
 ———, 1981: 気象学プロムナード, 3, 数値予報, 85-93.
 光田 寧, 1980: 台風とそれに伴う強風について, 京都大学防災研究所年報, 233 A, 17-42.
 正野重方, 1954: 気象力学序説, 岩波書店, 321-335.
 ———, 1958: 気象学講座, 気象学総論, 地人書館, 250-268.
 富高四郎, 1962: 台風圏内における気象要素の数値的分布, 研究時報, 14, 9, 609-620.
 ———, 1971: 台風圏内における気象要素の数値的分布(第3報), 研究時報, 23, 7, 219-239.
 山岬正紀, 1976: 台風の構造と発達のパワ学, 気象研究ノート, 129, 313-375.
 ———, 1982: 気象学プロムナード, 10, 台風, 134-135.

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第10回 レーザ・レーダ(ライダー) シンポジウム	昭和60年 5月16日・17日	レーザ・レーダ研究会	福井県芦原町
日本気象学会春季大会	昭和60年 5月22日～24日	日本気象学会	気象庁
月例会「第29回山の気象シンポジウム」	昭和60年 6月15日		気象庁
第22回理工学における同位元素研究発表会	昭和60年 7月 1日～2日	関係諸学協会共同主催	国立教育会館
International Cloud Modelling Workshop /Conference	1985年 7月15日～19日	WMO	Irsee (ドイツ)
First WMO Workshop on the Diagnosis and Prediction of Monthly and Seasonal Atmospheric Variations over the Globe	1985年 7月29日～8月 2日	WMO	メリーランド大学 (米国)
IAMAP/IAPSO 1985年 ハワイ合同研究集会	1985年 8月 5日～16日		ハワイ州ホノルル
第23回国際地震学・地球内部物理学協会 (IASPEI) 総会	昭和60年 8月19日～30日	地震学会ほか	京王プラザホテル
第3回エアロゾル科学・技術研究討論会講演	昭和60年 8月22日・23日	エアロゾル研究協議会	東京理科大学
第3回アジア流体力学会議	昭和61年 9月 1日～5日	アジア流体力学会議委員会	日本都市センター